産学連携エコシステムの形成について - 九州・大学発ベンチャー振興会議の取り組み -

2021年1月22日

(株)FFGベンチャービジネスパートナーズ 取締役副社長 STARTプログラム 代表事業プロモーター 山口泰久

自己紹介



山口泰久 Yasuhisa Yamaguchi M.Phil. (Cantab)

(株)FFGベンチャービジネスパートナーズ 取締役副社長 STARTプログラム 代表事業プロモーター













日本政策投資銀行 Development Bank of Japan

DBJキャピタル株式会社

ふくおかフィナンシャルグループ Fukuoka Financial Group

- 1. 多様なネットワークによる案件ソーシング
- 2. 多様な分野、多様なステージへの分散投資。テック系ベンチャーを選好。
- 3. 大学発ベンチャー振興会議を含む大学とのネットワーク、及び、700万件に及ぶ特許 DBのランキングをベースとするテクノロジー案件の獲得とスクリーニング
- 4. 豊富な専門家ネットワークによる技術・市場に亘る着実なデューデリジェンス
- 5. 取締役会における価値提供や、経営者を含む豊富なネットワークを活用した投資先へのハンズオン支援(経営支援)
- 6. 着実なEXITを実現(IPO及び売却)

Healthcare, Bio Science

シンバイオ製薬(株)(JASDAO上場)

(株) アイセイ薬局 (JASDAQ上場)

(株) ジーンテクノサイエンス (マザーズ上場)

ベルグアース(株) (JASDAQ上場)

(株) 大分大学先端医学研究所

KAICO (株)

Environment, Energy

アイピー・パワーシステム(株)(M&A売却)

(株)レノバ(マザーズ上場)

新興マタイ(株) (M&A売却)

(株) Looop

IT, Communication, Game

(株) Gumi (東証1部上場)

ネットマーケティング(JASDAQ上場)

(株) ナレッジスイート(マザーズ上場)

(株) グルーヴノーツ

(株) YAMAP

Manufacturing

サイバーダイン(株)(マザーズ上場)

ヴィスコテクノロジーズ(株)(JASDAQ上場)

(株) テクノフレックス (東証2部上場)

(株) QPS研究所

AeroNext (株)

(株) A.L.I.Techonologies

Service, others

日本エマシ・ェンシーアシスタンス(株)(JASDAQ上場)

G-FACTORY (株) (マザーズ上場)

(株) ライナフ

キュレーションズ (株)

akippa (株)

FFGベンチャービジネスパートナーズの概要

社名 : 株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ

本社 : 福岡市中央区天神二丁目2番1号福銀本店ビル5階

資本金 : 30億円 (資本準備金含む)

社長 : 福田知 (前親和銀行副頭取)

株主 : 株式会社ふくおかフィナンシャルグループ 100%

沿革 :

2016年4月 FFGのフィンテック投資のために設立

(旧社名:㈱ふくおかテクノロジーパートナーズ)

2017年2月 九州・大学発ベンチャー振興会議設立時の提言を受け、

同会議と連携する大学発ファンドの設立をFFGが表明。

2017年4月 社名を㈱FFGベンチャービジネスパートナーズに変更。

2017年5月 FFGベンチャー1号投資事業有限責任組合設立(50億円)。

2019年4月 GxPartnersと共同で、九州オープンイノベーション投資事業有限責任組合設立。

2020年3月 FFGベンチャー2号投資事業有限責任組合設立(50億円)。

イノベーション創出を取り巻く環境のトレンド

2005年頃から イノベーション創出のパラダイムシフトが!

機械システム思考→デザイン思考 リーンスタートアップ手法の普及 顧客志向型ビジネス開発の手法が発展

アクセラレーター(教育×投資)の勃興 オープンイノベーションの進展

2020年コロナ禍でDXが一気に進展 既存企業は、長年懸案だった ビジネストランスフォーメーションに着手

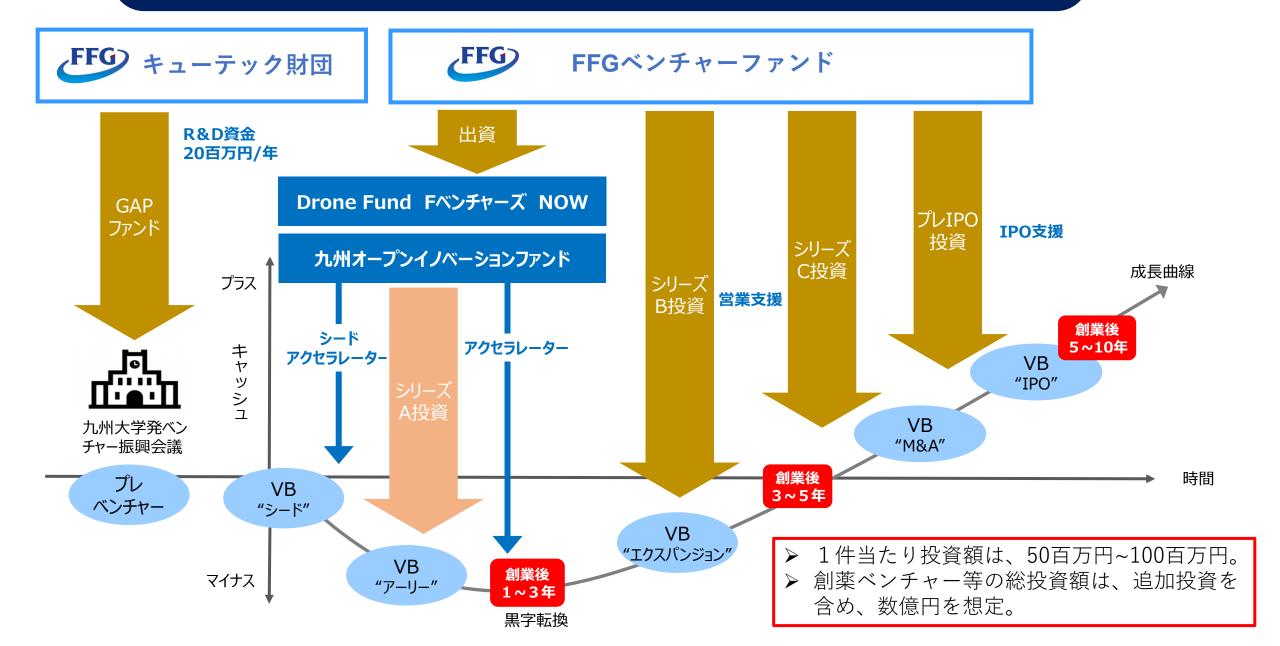
FFGベンチャービジネスパートナーズの 大学発ベンチャー創出を中心とする取り組み

ベンチャー投資

GAP資金+教育プログラム

産学連携エコシステムの形成

FFGベンチャーファンドの投資について

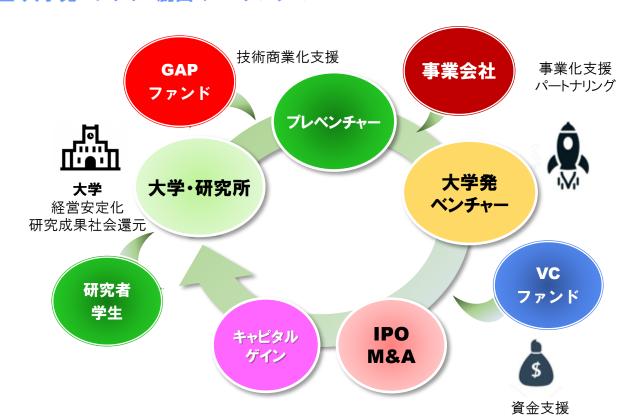


エコシステム

九州・大学発ベンチャー振興会議

- 九州の各大学が情報交換をしながらノウハウの共有や連携を行うとともに、経済界がこれをバックアップ し、九州が一丸となって大学発ベンチャーを振興する組織の設立。
- 構成メンバーは、九州・沖縄の国立大学及び主要私立大学学長並びに産業界の代表
- 毎年約30プロジェクトを選択し、投資、GAPファンドの提供(研究費の寄付)のほか、企業ニーズと大学 シーズのマッチング、事業化支援やパートナリング、知財事業化教育などの各種支援を行う。

■ 大学発ベンチャー創出のエコシステム



九州・大学発ベンチャー振興会議メンバー

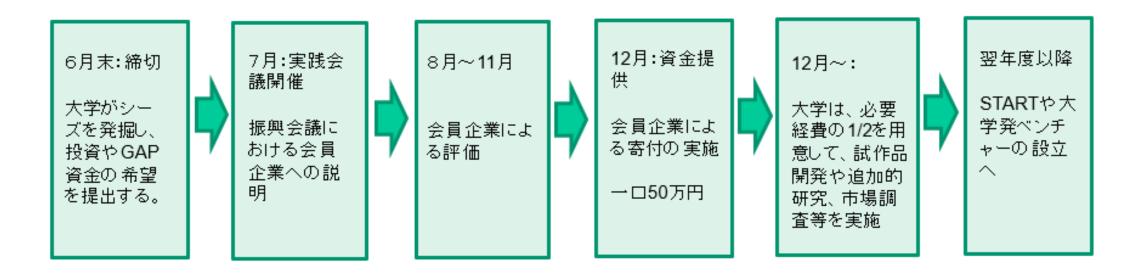
九州工業大学 佐賀大学 長崎大学 熊本大学 大分大学 宮崎大学 鹿児島大学 琉球大学 福岡大学 福岡工業大学 ファンド FFGベンチャービジネス パートナーズ 事務局 九州地域産業 性化センター 九州経済連合会

大学 経済団体 九経連 九州大学 九州商工会議所 九州経済同友会 九州経営者協会 九州経済調査会 九州地域産業活性化センター 経済界 トヨタ九州 安川電機 TOTO ソニーセミコンダ クタマニファクチャリン 西部技研 ヒーエムティー ハウインターナショナル ワイヒーエム KOTOZNA ·FFG·西日本シティ銀行 ·佐賀銀行·十八銀行 ・肥後銀行・大分銀行 宮崎銀行・鹿児島銀行 琉球銀行·沖縄銀行

九州・大学発ベンチャー振興シーズ育成資金

- 九州・大学発ベンチャー振興会議に所属する会員企業が一丸となって、大学発ベンチャーを振興するためのGAP資金を提供する。年間で総額50百万円の資金提供を目標とする。
- 各企業は、自ら研究シーズを選択し、大学に直接寄付を行う。(1口50万円。)
- FFGは、傘下のキューテック財団より、上限20百万円の助成金を支給する。
- GAP資金とは、大学における研究開発と事業化や投資に至るまでのギャップを埋めるため、また、大学の研究成果に商業的価値があるかどうかを検証するために、研究者に対してPOC達成のための試作品の開発や追加的な研究、市場調査などを行う資金の事である。

■ 九州・大学発ベンチャー振興シーズ育成資金



大学向け知財・技術事業化支援の成果



[事例] KAICO(株) (九大農学研究院日下部教授+工学研究院神谷教授)

JST・STARTプログラム案件、九州大学ギャップファンドから大学発ベンチャー第1号、九州・大学発ベンチャー振興会議案件。2018年4月設立 / 代表取締役:大和 建太(OBS卒業生)累計300Μの資金調達。食べる新型コロナ・ワクチンを開発中。



福岡市の施設(福岡市産学連携交流センター)に入居



大学向け知財・技術事業化支援プログラムの提供

教育+GAP資金



九州大学 インキュベーションプログラム

大学研究シーズを基に技術商業化の教育プログラムを実施。 2018年10月開始。QBS、QRECとの連携プログラム



長崎大学 FFG アントレプレナーシップセンター 2019年10月開設。2020年4月開講。

長崎大学の学部生・大学院生を対象にした寄附講座 研究者向けのインキュベーションプログラムも実施



長崎学生 ビジネスプランコンテスト 2017年度より毎年9月に実施。長崎県内6大学・工専の学生を対象コンテストの前に、ビジネスプラン作成講座を実施。

九州大学

【研究シーズ】から【ベンチャー企業】へと成長させる

医学部

丁学部

農学部

芸工学部

理·他学部

①各学部の技術 シーズ提供

①各大学の技術 シーズ提供 ②毎期5シーズ程度を選定

③QREC/QBS等と連携し、事業化支援を 実施(特許分析・市場調査・ビジネスモ デル分析等)

『FFGインキュベーションプログラム』

・START プログラム(※)へ応募

・振興会議によるGAP資金

④大学発ベンチャー創出

事業化を支援する

九州・大学発ベンチャー振興会議

九州・大学発ベンチャー振興会議の成果(まとめ)

- ◆ 毎年、大学発ベンチャーを目指す、研究シーズが各大学 2 ~ 3 件、**年間**合計で **20件~30件**が振興会議に上がってくる。これまでの累計は74件。
- ◆ これらの研究シーズ中で、創業に至った案件は10件。うち投資できそうなものは VCに繋ぎ、7件が資金調達に成功。創業まで、もう少し応用研究が必要な案件 に対して民間企業から寄付の形でGAP資金を提供。2021年度は、年間80百 万円を目標。これまでの累計は1億円を超える。
- ◆ 2020年度は、企業ニーズを初めて募集。会員企業より、**企業ニーズ37件**が提出され、これらに対して、大学側の**研究シーズ74件をマッチング**するも、ほとんどマッチングは成立していない状況。
- ◆ 研究者向けに、インキュベーションプログラムを運用。SCORE採択6件、START プログラム採択3件。

九州における産学連携の課題

企業側の課題

- ◆ 基本的に自前主義。オープンイノベーションの考え方が浸透していない。
- ◆ CVCやアクセラレーションプログラムに取り組む企業は少数。
- ◆ 現在抱える課題は、ある程度開示できるが、弱点はさらしたくない。
- ◆ 戦略的ニーズは、あまり出したくない。
- ◆ 共同研究により有望なシーズを囲い込みたい。

大学側の課題

- ◆ 企業ニーズに応える研究が無い。研究テーマが微妙にずれると対応出来ない。
- ◆ 研究者が、顧客志向の研究をしていない。企業へのセールス意識が低い。
- ◆ 大学の産学連携組織が、企業ニーズを研究者にフィードバック出来ていない。
- ◆ 大学発ベンチャー専任の組織が無い。インキュベーション人材が不足している。
- ◆ 特許について、FTOの確保がなされていない。

ご清聴ありがとうございました。

ご質問は、下記アドレスまで。 yamaguchi@ffg-venture.co.jp

以下補足資料

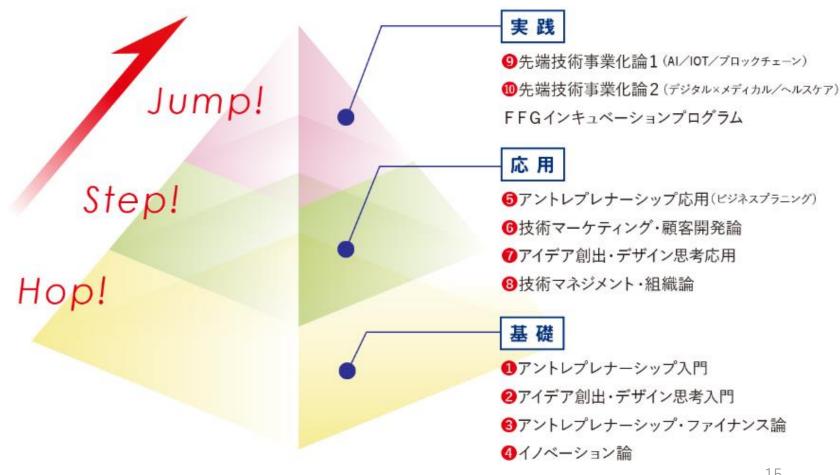
長崎大学FFGアントレプレナーシップセンター



NFECの使命

1.アントレプレナー 人材の育成 2.大学発ベンチャー の創出

プログラムロードマップ



大(撮影のためマスクを外しています)

(NFEC)は、新型コロナウイ

る。学生は交流を通じイノベ ョン(革新)を起こす場としてラ

社会人との交流や、学生サ 社会人との交流や、学生サ 社会人との交流や、学生サ 社会人との交流や、学生 か、何らかのプロジェクトを 計画遂行する場として使って もらう。事務員のほか、学生 が交代でマネジャーを務め交 が交代でマネジャーを務め交 が交代でマネジャーを務め交 が交代でマネジャーを務め交 が交代でマネジャーを務め交 が交代でマネジャーを務め交 が交代でマネジャーを務め交 がを促すことも検討中。 約60平方が、土足禁止。床 の半分は上がりかまちのよう に一段高く、くつろげるよう クッションを置いた。リーダ ーの山羽香穂さん(印)=水産 学部2年=は「靴を脱ぐのは 固定観念にとらわれず、新し いアイデアを生み出せるよう に。思考が煮詰まったら(高 床エリアで)リフレッシュし にあらたれず、半年 にあったり、第1

「人がつながる場」学生主導、ラウンジ開設 9月、FFG主催の長崎学生ビジネスプランコンテストでビジネスプランコンテストで上業に興味を深めている。いったな方と出会い、刺激を受けた。このラウンジに人が集まり、つながってほしい」と話した。



投資+教育+協業

九州オープンイノベーションファンドの設立

- ▶ 当社とGxPartnersとの共同GPによるファンド。2019年4月ファンド(約10億円)設立。
- GxPartnersは、九州最大のピッチイベントStartup Go Go!主催で著名。
- 福岡では、アーリーステージに投資するファンドが少ない。よって福岡のスタートアップに特化。
- ◆ LP企業との協業が特徴。 LP企業向けのアクセラレーションプログラムを展開。

主な機関投資家





















アクセラレーションプログラム

















ベンチャーキャピタルからみたベンチャー企業の課題

- 1. 経営人材・チームの不足 社長のアントレプレナーシップが重要。適切な経営チームの組成が必要。経営経験の伝達が出来ていない。メンタリングが不足。
- 2. 知財・技術マーケティングと応用研究の不足 市場ニーズの把握が必要。世界で競争できる強い知財・技術の強化が 必要。POCを達成するための応用研究が不足。
- 3. 顧客志向型のビジネスモデルの構築が出来ない。 PMFするビジネスモデル構築が必要。事業構想力が不足。
- 4. 事業化段階で応用研究のための資金が不足 シード段階での圧倒的な資金不足。GAP資金が不足。
- 5. 外部リソースの活用不足 企業とのパートナリング(生産、販売、研究開発)が不足。オープン イノベーションの未成熟。地域エコシステムの利用が不足。